

週刊粧業

発行所 週刊粧業®
東京都台東区上野1-18-9
(黒門平成ビル3・4F) 〒110-0005
電話 (03)3836-2601
FAX (03)3836-2602

週刊粧業ホームページアドレス
<http://www.syogyo.jp>
E-メールアドレス
letter@syogyo.jp

©週刊粧業 2013

Beauty & Health Innovation

中国に親会社を持つ強み活かし 両国のニーズ満たす体制構築へ

Beauty & Health Innovation

ion(以下、BHI)は、中国現地企業の中で業界No.1の江蘇隆力奇生物料技(以下、隆力奇)の子会社で、日本市場向けの化粧品OEM事業を行っている。BHIで日本人の肌質やトレンドに合わせ、処方開発を行い、隆力奇が持つ中国工場で生産するという「日本品質・中国生産」のOEMビジネス



楊 社 長

ネスを展開している。一方で近年は、中国進出を目指す企業からの問い合わせが増えてきた。「日本企業は、自前のソフト(技術開発)やそれを活かした商品を展開する市場を中国に求めて

いる。一方の中国企業は、高品質な日本化粧品は、高品質な日本化粧品の取扱いや優れたソフトの習得に対し、ニーズが高まっている(楊建中社長)

そこで楊社長は、日中両国の化粧品業界間における交流の架け橋となり、双方がWin-Winな関係を築くことを目指し、(社)日中化粧品国際交流協会を設立した。現在、両国合わせ20数社の会員に対し、両国の化粧品業界の情報発信や最適なパートナー探しの支援活動に取り組んでいる。協会の活動に対し、親

会社の隆力奇は理解を示しており、欧米企業のシェアが大きい現状の中国市場に対し、人種を同じくするアジア企業のシェアを高めたいという楊社長の思いに共感しているという。「独自に進出する戦略は、自社でコントロールできるメリットがある一方、開拓までに時間とコストがかかる上に、現地の評価次第で業績に浮き沈みが生じるリスクは大きい。事業の安定性という観点に立てば、現地の有力メーカーとの提携を推奨したい」(楊社長)